

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
アドバンスレッスン2_a											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	谷村 庸平			実務経験	有	職種	アレンジャー				
授業概要											
1年で学んだ作曲編曲の技術を2年生ではさらにDAWの中でより精度を磨いた形で作品にしていく。 ミックス・マスタリングにより深い考察と理解をする。 エフェクトや波形編集においては、より音楽性が豊かに感じ取られるトラック制作への知識と技術を身につける。											
到達目標											
実践的なミックスが実現できるように、講義だけではなく各自の作品のDAWデータを見ながらできるだけ解説をする。昨今の音楽は音の仕上げにおいてより複雑でインパクトのある音楽が求められる。EQ、コンプ、リバーブなどの考え方をより深めることによって現代のニーズに応えられるミックスの技術を磨く。また生楽器のミックスではより自然な音にするという事がどういうことなのかを学ぶ。 エフェクトを考える意味合いも常に「音楽的」でありことを前提に工夫する思考を磨きたい。 Real Dreamsや卒業制作に反映させる。											
授業方法											
一人ひとりの作品のプロジェクトファイルをモニタリングしながら、それぞれのトラックにしかけてあるプラグインエフェクトや音色に対するアプローチを確認。 考え方をチェックしてより効果的なテクニックがないかを考える。 またミックスやマスタリングに関してはあらためて考え方を講義する。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
何よりも出席重視という事。そして自分以外の人の作品にも興味と考察を深められるようにしたい。 そのことで多くのジャンルやスタイルに対する対応力が着く。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	エフェクトの種類とそれぞれの効果に関して理解する										
第2回	音楽におけるエフェクトと映像におけるエフェクトの違いを認識し理解する										
第3回	モジュレーション系エフェクトの効果とサウンドを理解し設定方法を習得する										
第4回	位相変調系エフェクトの効果とサウンドを理解し設定方法を習得する										
第5回	コンプレッサーの意味とそのサウンド効果を理解する										
第6回	コンプレッサーの種類を把握し設定法を習得する										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
アドバンスレッスン2_a	
第7回	部分コンプレッサーのかけ方を習得し野のサウンド効果を理解する
第8回	全体コンプレッサーの意義を理解しその設定方法を習得する
第9回	キーボードにおけるシンセサイザーとDTMにおけるシンセサイザーの違いを理解する
第10回	それぞれのシンセサイザーの種類を把握しサウンドバリエーションを理解する
第11回	アナログシンセサイザーの特徴を理解しサウンドキャラクターを加味したうえで使用用途を考察
第12回	デジタルシンセサイザーの特徴を理解しサウンドキャラクターを加味したうえで使用用途を考察
第13回	エフェクト・コンプレッサー・シンセサイザーを用いて作品制作を行う
第14回	上記作品をミックスダウン～マスタリング作業を行う
第15回	個々のフォルダーにて「ポートフォリオ」作成し卒業案件とする

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
アドバンスレッスン2_b											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	田熊 知存			実務 経験	有	職種	アレンジャー				
授業概要											
ポートフォリオ制作に向け、各個人が必要とする能力を習得する。 作編曲・ミックス・音作りなど、多方面からのアプローチにより、楽曲のクオリティー向上を目指す。											
到達目標											
各自が目指すクリエイター像により高いレベルで近づく。 しっかりした裏付けに基づく知識と技術を身につけ、より高レベルなポートフォリオの作成に反映させる。											
授業方法											
主に生楽器を扱いボーシング手法等を学ぶアナログ班と、DTMベースでアレンジを進めるデジタル班に分かれる。 講義等は基本的にその班ごとに行い、演習でさらに細かく個別指導を行うものとする。班の行き来は一定の条件を満たしているならば、可能とする。 オプションとして後期には同じ講義内容をもう一度繰り返すので、自分に合う活用法で利用するものとする。 受講生は1週間のうちに添削用の楽曲を準備、授業ではその楽曲の改善指導を行うものとする。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
指導に、より客観性を持たせるため二人の講師は極力全員の進行状況を把握するよう努める。 弦・管などのセクションレコーディングは9～10月を予定。受講生には自発的に質問・意見を発言する自発性が望まれる。受講生本人が進め方を決める授業なので、随くたびに自らの力で打開策を見つける必要がある。もちろん教員はその手助けを行う。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ストリングスセクションにおける5パートアレンジを習得する										
第2回	プラスセクションにおける5パートアレンジを習得する										
第3回	管弦における5パートアレンジを習得する										
第4回	ストリングスセクションにおける6パートアレンジを習得する										
第5回	プラスセクションにおける6パートアレンジを習得する										
第6回	管弦における6パートアレンジを習得する										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
アドバンスレッスン2_b	
第7回	コードスケールの復習とその仕組みを理解する
第8回	コードスケールの種類と各対応コードを把握しヴォイスングを理解する
第9回	実際にコードスケールを使用した場合のサウンドを分析することにより理解を深める
第10回	対位法とは何かを理解する
第11回	トラディショナルな音楽での対位法を分析する
第12回	ポピュラー音楽での対位法の効果的な利用方法を学ぶ
第13回	Voicing 対位法を使用してアディショナルアレンジを施す作品を制作
第14回	制作した作品の最終チェックを行う
第15回	合同卒業展への参加 作品視聴をできるように手配をする

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
アドバンスレッスン2_c											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	甲原 圭			実務経験	有	職種	アレンジャー				
授業概要											
楽曲また作曲家等分析することにより、自分がどのような作品を制作するのかを改めて認識し、卒業後の作家としての活動に生かしていくことを目的とする。 後期は「協働制作」をテーマにし、昨今のクリエイターとして必要不可欠なコンテンツを含めた制作を進め音楽だけではなく幅広いクリエイターを目指す。											
到達目標											
分析を基にコンテンツ制作も視野に入れたクリエイターを目標とする。 他人とのコ・ライティング、共同作業によってコミュニケーション能力を高めていく事、そしてそれらにより作品のクオリティを上げていくことを目標とする。 合同卒業展への作品展示・Real Dreamsでの披露等幅広く活用できる作品を制作する。											
授業方法											
前期は主に分析を主とした講義を展開する。音楽の分析はもとより後期に向けてのグルーピングのための各個人の人間分析も行う。 各個人の音楽に対する分析を基に分析課題を行い発表し、方向性の近い学生とチームを作り、後期はチームごとで制作に入っていく。 最終授業内でプレゼン発表会を行う。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
前期の分析発表会では他人の発表もこまめにノートに記録する。分析結果をもとにグルーピング基準を検討し制作すること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	映像の種類・仕組みを理解する										
第2回	制作における手順、必要機材等を把握する										
第3回	動画、静止画収録についての講義										
第4回	動画編集①										
第5回	動画編集②										
第6回	映画音楽に関して理解を深める										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
アドバンスレッスン2_c	
第7回	アニメーション音楽に関して理解を深める
第8回	PVに関して理解を深める
第9回	コンテンツの制作における段取り・依頼・制作に必要な絵コンテ等の準備を行う
第10回	挿入曲・テーマ曲等曲数の確定・制作 プリプロ音源の制作
第11回	単発レコーディング リズムセクションレコーディングのディレクションを行う
第12回	アディショナルセクションのレコーディング作業を行う
第13回	歌録りをメインに他オーバーダビング～ミックスダウンまでの作業を行う
第14回	コンテンツとの融合の最終チェックを行い修正作業を行う
第15回	最終発表会の実施 合同卒業展への作品展示

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
アドバンスレッスン 2_d											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	下條 慧			実務経験	有	職種	音楽家				
授業概要											
国内における音楽制作環境の多くは、プライベートスタジオと呼ばれる自宅などを中心としたDAW環境に移行されている。1 年次では、限られた制作環境の中でいかにクオリティの高い作品を生み出すかについて実践的なアプローチを習得してきた。2 年次では、ミックスアプローチをさらに深く掘り下げて、より立体的な音場作りを習得する。また、録音時の集音方法によるサウンドの違いを理解し、実践的なミックスに取り入れる。さらにマスタリングの基礎を学び、完全なパッケージとしてクライアントの要望を的確に捉え、作品のクオリティをさらに高める方法を習得する。											
到達目標											
楽曲制作のポストプロダクションの過程となるミックスの構造を理解し、自身の楽曲におけるミックスアプローチの向上、さらに録音した音をより立体的な音場作りを行う方法の習得を目指す。 音作りにおいて重要となるエフェクト効果の知識を深め、楽曲に合わせたサウンドメイクを行うこと、マスタリング基礎知識を学び、録音・ミックス・マスタリングのプロセスを経て、自身で作品をパッケージ化するまでの方法を習得することを到達目標とする。											
授業方法											
この授業では、1 年次に習得したレコーディング技術をさらに深めるとともに、コンプレッサーやイコライザーなどのダイナミクス系エフェクトプラグインやディレイやリバーブなど空間系エフェクトプラグインの使い方を理解し、自作曲にフィードバックする技術力を身につける。また、必要に応じて、マイクプリアンプやコンプレッサーの実機を使用し、適正レベルでのレコーディングを行える技術力を習得する。最終的には一般に流通している音源と差異のないレベルの作品を仕上げることを目的とする。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
授業の際は筆記用具、ノート（五線紙もあることが望ましい）、データを記録する外付けHDD（SSD）、ヘッドフォン（必要に応じてミニステレオ→標準フォンプラグの変換）を毎回用意すること。毎回の授業内容はノートに採り、自身で繰り返し確認できるようにする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	各自のDAW環境に合わせ、DAWルームでレコーディングが行えるよう正しい知識を身につける										
第2回	CM音源など、短い作品を録音する際のボーカルレコーディングを身につける										
第3回	ボーカル曲など、一般的な作品を録音する際のボーカルディレクションを身につける										
第4回	環境音やノイズなど、独自の素材を使用しループ素材を制作する										
第5回	環境音やノイズなど、独自の素材を使用しループ素材を制作する										
第6回	ホールリバーブ、ルームリバーブを理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
アドバンスレッスン2_d	
第7回	プレートリバーブ、ゲートリバーブを理解する
第8回	ディレイの特徴、使用法を理解する
第9回	自作曲に対してのミックスアプローチを理解する
第10回	自作曲に対してのミックスアプローチを理解する
第11回	マスタリングの必要性を理解する
第12回	マスタリングスタジオにおける実作業を理解する
第13回	マスタリングの調整法を理解する
第14回	年間を通した授業内容のまとめ、及び作品に対する総合的な判断力を身につける
第15回	作品に対する総合的な発表力を身につける